

国際ロータリー第2500地区第6分區

# 帯広東ロータリークラブ会報



Be A gift to the world

2015-2016年度  
帯広東ロータリークラブ

会 長 上野 敏郎  
幹 事 加藤 昭治  
メディア委員長 西田 重人

## 「連：つらなる」

### 第1488回例会

平成27年9月15日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30～13:30  
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広



2015-2016年度  
国際ロータリーテーマ

## 【世界へのプレゼントになろう】

2015-2016年度国際ロータリー会長  
K.R. ラビンドラン

ガバナーテーマ

## 【もっとロータリーを楽しみましょう】

国際ロータリー第2500地区 ガバナー  
東 堂 明

- ◎起 立 板倉 利男 S A A
- ◎友情の握手 板倉 利男 S A A
- ◎点 鐘 上野 敏郎 会 長
- ◎開会宣言 板倉 利男 S A A

### ロータリーソング

「我らの生業」

◎ゲスト紹介

◎ビジター紹介

・R I 第2550地区第7グループ  
ガバナー補佐

日光RC 岸野 稔 様

・日光RC前会長 岸野 房子 様

◎会 食



上野 敏郎 会 長  
益子 裕之 副会長



### 会長挨拶

上野 敏郎 会長



本日はお客様をお迎えしております。ご夫婦で同じロータリークラブに入られているというお話をお聞きました。鬼怒川は大変な状況にありますが今のところ被害はないとのこと。「災害は忘れたころにやってくる」と言われますが、最近の日本は「忘れないうちにやってくる」もので

すから我々も気を付けなければならないと思います。

昨日の地元の十勝毎日新聞に「ホコテン」のお話が載っております。10年間も続いており定着していますが、残念ながら「街路樹の無断伐採」や「商店街との関係が上

手くいかない」というようなことで見直す時期にあるのではないかと記事がありました。

私は、「無断伐採」はいかがなものかと思いますが、10年間続いたこの行事は継続させなければならぬということで何とか乗り切ってもらいたいと思いますし、我、帯広十勝の風物詩になってもらいたいと思います。

木を伐採した理由は、藤丸デパートの壁に映画を映そうとしたが、視界が良くないということで木を切ったとのこと。極めて単純すぎて笑うに笑えないことで、当然いけないことです。

しかし、藤丸デパートの壁を使って映画を映すという発想は大事なものだと思います。例えば、私の願いなんですけども、別添に「熊の出る開墾地」というものを用意させていただきました。これは昭和7年、帯広市が未だ市になる1年前のお話であります。無声映画で中札内・大樹等々で撮った映画です。この十勝がロケ地となった映画は30数本あります。これを是非とも観なおして、藤丸のあの壁をスクリーンにして観たいもんだなあ、ロータリークラブも何らかの関わりを持ってたらいいなあと思新聞を読んでおりました。

### 会務報告

加藤 昭治 幹事

◎帯広東RC

9月22日(火)は祝日のため  
休会と致します。

◎9月1日に入会した加藤 肇 会員  
は親睦活動委員会に所属です。



### ニコニコ献金

親睦活動委員会 池田 誠 副委員長

●日浅 尚子 様 (9月8日例会のゲスト)

ニコニコします。

●上野 会長 幼稚園の運動会が一つ  
終わりました。雨の心配をしながら  
でしたが、子どもは元気なもので  
す。

●加藤 幹事 今年の出席率のアップ  
を祈ってニコニコ。

●板倉 会員 短い夏も終わりました。皆様健康にご留意下さい。



## 出席報告

相澤 和彦 出席プログラム委員長

### 9月1日(火) 第1486回例会

会員数 41名

計算に用いる会員数 37名

ホームクラブ出席者数 28名

メークアップ者数出席1名

出席率78.4%



## プログラム 国際奉仕ロータリー財団委員会 益子 裕之 委員

### 【車社会の国際化・・もう外車とは言わない】

Audi 帯広 店長 三浦 孝明 様

我々はずっと「外車」「左ハンドル」と言ってきましたが、車を扱う人間としてはあえて「輸入車」という言い方をさせていただいております。私は「Audi」の店長として仕事をしておりますが、「2020年アウディは世界No.1ブランドを目指します」というスローガンを掲げております。これは決して自動車業界No.1ということではありません。色々な業種のブランドがありますが、その中でのNo.1ブランドを目指すというスローガンです。



アウディの話を中心にお話させていただきますが、その前に簡単に私の自己紹介をさせていただきますと。

昭和46年生まれ、44歳です。出身地は本別町です。小中高田舎独特なんですけどもエスカレーター式に進学致しまして、ずっと野球をやっておりました。今でこそ帯広の高校が甲子園に出場しておりますが、当時は帯広北高校が3年間で2回甲子園に出場したその世代です。郡部の小さい学校の野球部で毎日毎日厳しい指導を受けながら野球をやっていたことを思い出します。その高校野球生活があったので、私自身の人生の師として当時の監督を思っております。その先生から教わったことが、人生の岐路に立った時に色々な部分で私の心の支えになっております。一番教えられたのは「挨拶をきちんとすること」ということでした。高校卒業後、都会に憧れまして神奈川県旅行の専門学校に行きました。その後、旅行会社に勤務しました。縁がありまして、今から17年前に現在勤務している株式会社エイコーに入社することになります。

アウディはドイツのメーカーでございます。今、自動車業界の中では、日本とドイツこの2か国が自動車先進国と言われております。ドイツとしては「メルセデスベンツ」「フォルクスワーゲン」「ポルシェ」聞いたことがある輸入車メーカーばかりだと思っておりますが、その中でアウディがドイツの御三家となっております。

昨年、世界でアウディが販売台数174万台を実現できました。これは過去最高でありまして、メルセデスベン

ツが165万台、BMW181万台と3社とも過去最高の販売台数となっております。一方、トヨタは1,000万台・フォルクスワーゲングループも1,000万台、GMは940万台です。アウディは日本国内でも成長を続けております。リーマンショック以降、各メーカーが販売台数を落としている中で、何とか台数を伸ばして、特にアウディは北海道でプレミアムブランドのシェアが33%と日本全国の平均が約10%でありますから3倍のシェアを取っているのが現状となっております。

では私たちが住んでいる十勝管内ではどうなっているのかというと、15年前はメーカー問わず全乗用車の登録台数が13,000台程です。昨年は8,500台となっております。60%ぐらい減少しているようです。軽自動車については、約5,000台をこの15年間維持しています。それだけ軽自動車のニーズが多いというのは皆さんもご承知の通りだと思います。私たちが扱っている輸入車は、250台前後だったものが350台前後まで伸ばしております。それだけ、本テーマにもありましたけども、身近に輸入車が特別な存在から変わってきたのかなあと感じております。



今ご覧になっていただいたVTRは、ヘッドライトの歴史に関して、最初はマッチで火を灯してヘッドライトの代わりにして、次に電球ができて、昨年ノーベル賞を中村さんらが受賞していましたがLED・発光ダイオードを使ってスモールライトあるいは今は、通常の遠目・近目というヘッドライトですべてLEDを利用する車種が出てまいりました。日本でもレクサスとかLEDライトは導入してはいますけども、世界で最初にアウディが取り組んだということになります。VTRの後半に人が映っていましたが、ヘッドライト自体がマトリックスヘッドライトと言われますけども、人だとか対向車を認識して、ライトの灯す方向を変える技術も導入されています。

アウディの歴史と今ということですが、日本ではアウディは昭和40年後半から50年代、当時はヤナセさんで販売してはいました。イメージとしては、ご主人がメルセデスベンツに乗って、奥様がアウディに乗るというものがありましたが、アウディのスタートは1899年です。今から116年前にアウディの創始者でありますアウグスト・ホルヒによって設立されました。当時は「ホルヒ」という名で設立したんですが、他の取締役の方々と経営方針が異なっていました。ホルヒは、「こんなもの造りたい」「いいもの造りたい」「お金はいくらかけても良い」、けれども会社というのはそれでは成り立たないです。アウグスト・ホルヒは「ホルヒ」という会社を出ていき、今の「アウディ」を設立しました。

アウグスト・ホルヒによって設立されました。

当時は「ホルヒ」という名で設立したんですが、他の取締役の方々と経営方針が異なっていました。ホルヒは、「こんなもの造りたい」「いいもの造りたい」「お金はいくらかけても良い」、けれども会社というのはそれでは成り立たないです。アウグスト・ホルヒは「ホルヒ」という会社を出ていき、今の「アウディ」を設立しました。

◎閉会宣言

板倉 利男 SAA

◎点 鐘

上野 敏郎 会長

## 次週プログラム

青少年奉仕・ロータクト委員会

9月29日(火) 「ライラ報告会」

